

いわき地域環境科学会会報



ふいーるど

FIELD No.131

< 目 次 >

【ご案内】

- ★ 第22回 子供環境研究発表会 1
- ★ 平成30年度発表会 2

【報告】

- ★ 30周年記念講演会実施報告 3
- ★ NPO法人いわき環境研究室 4
- ★ いわき自然エネルギー研究会 7

【事務局から】

- ★ 9月～10月事務局会議報告 9
- ★ お詫び 10

【ご案内】 第22回 子供環境研究発表会

当会恒例の「子供環境研究発表会」を下記のとおり開催いたします。9月にいわき・ら・ら・ミューで開催された、市内小学校児童の夏休み理科自由研究作品の中から環境関連の作品を選出させていただきました。当日は、児童の皆さんからポスター形式で発表していただく予定です。また、今回は当会の設立30周年を記念して、この子供環境研究発表会のOBで現在も研究者として活躍されている福島大学の大平創先生にもお話をさせていただくことになっております。

当会会員のみならず多くの皆様方に、是非小学生の皆さんの研究発表をご覧くださいませよう、ご案内申し上げます。

記

- (1) 日時 平成30年11月25日(日) 9:30～12:30
- (2) 場所 福島工業高等専門学校 専攻科棟1F 多目的講義室・第1講義室
- (3) 進行次第
 - 開会 9:30
 - 会長挨拶・理科学研究部長挨拶 9:30～9:40
 - 発表 9:40～11:50
 - 前半の部 9:40～10:40 (6発表)

「いわき七浜のふしぎ」	高久小学校3年	井上 怜亮 さん
「だんご虫のひみつ発見」	泉小学校3年	佐藤 一輝 さん
「電気と発電について」	豊間小学校4年	望月 蓮 さん
「アサヒアナハゼの研究」	泉小学校4年	大和田 夏海さん
「光パワーで育て植物」	平第六小学校5年	鈴木 莉乃 さん
「クワガタの走光性について」	好間第二小学校5年	佐藤 聡音 さん

●後半の部 10:50~11:50 (6発表)

「かいわれ大根の成長競争5」	小名浜東小学校5年	小松 瑞生 さん
「いわきの海とプラスチックゴミ」	小名浜西小学校5年	菅 竜馬 さん
「浸透のふしぎにせまる」	中央台東小学校6年	薄井 董 さん
「塩分と植物について」	豊間小学校6年	有働 峻介 さん
「伸びろ緑のカーテンパート3」	御厩小学校6年	立花 里紗 さん
「鮫川が教えてくれたこと」	植田小学校6年	鈴木 心彩 さん

OBによる講話・講評 11:55~12:20 大平 創 氏 (福島大学共生システム理工学類・特任助教)

表彰 12:20~12:30

閉会 12:30

【ご案内】

第30回 発表会

当会では、いわきの環境に関する情報交換や意見発表の場として毎年発表会を開催しています。今年度は、設定テーマについては30周年記念事業の一環として募集しました「いわきの環境科学遺産」についてご発表いただく予定です。自由テーマにつきましては、従来通りいわき地域の環境に関する調査や研究についての内容をご発表いただきます。会員の皆様の日頃の活動からの思いなどをご披露いただきたいと考えていますので、ぜひご応募ください。

下記の内容で発表会を開催いたしますので、どうか奮って発表参加をお願いいたします。

記

(1) 日時 平成31年1月19日(土) 13:30~17:00 (予定)

(2) 場所 パルシステム福島「みんなの交流館」

(3) 発表内容

自由テーマ

設定テーマ「いわき地域の環境科学遺産」

(4) 発表方法等

○発表形式はパワーポイント等を使用した口頭発表です。

○発表時間は1件につき標準20分間です。ただし、5分

間程度のショートスピーチから発表時間30分程度のロングプレゼンも可能で、事務局が発表者と相談の上決定します。

○発表要旨集に掲載する原稿を、A4サイズで4ページ以内にまとめていただきます。



(5) 発表参加申し込み等

○発表申し込み〆切：平成30年12月7日(金) 事務局発表会担当まで発表者名とタイトルをご連絡ください。

○要旨集原稿提出〆切：平成31年1月11日(金) 原稿は電子ファイルでご提出ください。

(6) 問合せ・申込み先

いわき地域環境科学会事務局（発表会担当：山田）

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校 電気電子システム工学科

Tel. 0246-46-0800, Fax. 0246-46-0807, E-mail:yamada@fukushima-nct.ac.jp

【報告】 30周年記念講演会 実施報告

去る10月28日(日)、福島工業高等専門学校・専攻科棟において、当会の創設30周年を記念した講演会および懇親会が開催されました。参加者は約30名でした。

諸橋会長の挨拶の後、事務局より30周年を記念して作成された冊子「いわきの環境科学遺産 ーいわき地域の環境・魅力再発見ー」の発刊報告および「いわきの環境科学遺産」に選定された11地点の紹介がありました。

その後、記念講演として、当会の個人会員である鳥海陽太郎氏による「どう



なっている？ いわきの生きものたちはいまーこの三十年でいわきの生きものたちの生息状況が激変ー」，維持会員の株式会社江東微生物研究所の橋本亮一氏による「環境調査における検査対象としてのプランクトン」の2件のご講演



鳥海陽太郎氏



橋本亮一氏

をいただきました。鳥海氏のご講演では、動物や虫についての貴重な写真を数多く提示していただき、それらのいわき市内における現状についてお話しいただきました。橋本氏のご講演では、人間の目には見えないミクロな世界での微生物について、写真や模型などを提示しながら特性などについて解説していただきました。いずれのご講演も、これまでなかなか聞くことのできなかつた生物についての貴重なお話で、参加者の興味を惹く内容でした。講演の後の質疑応答でも活発なやり取りが行われ、関心の高さをうかがうことができました。

講演会後の懇親会では、講師のお二方を交えての団欒、参加した会員相互の情報交換などが行われ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。



諸橋会長の音頭で乾杯する懇親会参加者



懇親会の閉会の挨拶をする富田副会長

最後に、講演会では講師のお二方にお忙しいところ講演の準備をしていただき、また会員の皆様には多数ご出席を賜りましたこと、本紙を借りて御礼申し上げます。

◇◇◇NPO法人いわき環境研究室からの報告◇◇◇

(平成30年9月1日～10月31日)

①ビッグパレット実演 (9/1)

郡山のビッグパレットでパルシステム福島の商品展示会に出展しました。 昨年のいわき開催に引き続いての出展で、「浮沈子」「遡り水車」「針金アメンボ」「風に向かって走る車」などの実演や工作を行いました。



②いわき海星高支援講座4回分(9/4、9/11、10/2、10/16)

○第1回いわき海星高校環境教育支援講座(9/4)

神白川流域の本川と支川(梅田川)の水質の状況について、現地調査の予定でしたが、あいにくの雨天のため、予め採取しておいた5地点(神白川上流・中流・下流、梅田川上流・下流)の水質を分析しました。流域内の排水処理の実態を参考にし、汚れの要因等について考察しました。



○第2回(河口部の流れの調査、9/11)

試料採取には、ゴムボートを準備し、当会独自で作製した器具を用いて、縦方向、横方向、水深の違いなど27点を調査しました。採取担当の生徒は、海水パンツに救命胴衣と万全の姿で臨み、張り切ってその任務をまっとうしました。



○第3回(水質浄化実験10/2)

いわき海星高校での環境教育支援(3回目)として、水質浄化実験を行いました。初めに実験内容及び理論概要の説明後、実験に入りました。生物処理として、タニシを使った汚水の浄化実験と活性汚泥による汚水の浄化実験。物理・化学処理として、砂ろ過および木炭での吸着装置を生徒自身が製作し、それを用いての浄化実験を行いました。



○第4回(鳴き砂調査10/16)

この日は晴れて暑くも寒くもない絶好の野外調査日和でした。いわき鳴き砂を守る会から佐藤理事長、小堀副理事長、柳田理事、本会から橋本、中西、和田隆、平川がスタッフとして出席しました。

12時20分より生物化学室で座学が始まり、佐藤理事長より鳴き砂の基礎知見について25分間講演がありました。パワーポイントを使っての説明で、海洋科2年の生徒13名が熱心に聞いていました。

座学が終わって、神白海岸へ移動して野外調査を行いました。生徒は7班に分かれて、班毎にスタッフ1名が付きましました。南北方向に20m間隔で21定線を設定し、1班3定線ずつ鳴き砂調査と放射線量測定を行いました。海岸方向へは10m間隔で測定しました。

生物化学室に戻って、測定した結果について、報告しました。平成28、29年度の調査結果と対比して示しました。鳴き砂、放射線量ともに3か年よく似た分布でした。



③平4小支援 (10/1)

平4小6年生3クラス、72名を対象に自然エネルギー支援講座を開催しました。福島高専山本敏和先生より、「エネルギーの今と未来」の講義を行いました。概要はエネルギー問題のお話、自然エネルギーのお話でした。その中で、エネルギーは仕事をする力、身近なエネルギーである電気は化石燃料や原子力で作ってきたが資源に限りがあります。一方、自然エネルギーは無尽蔵にあり、地球温暖化の原因となる炭酸ガスの排出が少ないなどを学びました。その後、自然エネルギーに関する教材(太陽電池、風力発電、水力発電、電磁誘導と手回し発電、ペルチェ素子による発電)による体験をしました。子ども達は自ら体験できる教材に夢中で取り組んでいました。



④夏井小支援 (10/3)

今年度3回目となる夏井小5年生対象の支援講座は、夏井川上流域小野町にある夏井1小の5,6年生との交流を目的に開催されました。両校ともバスで移動し、最初、小川公民館前の夏井川川原にてお互い自己紹介の後、夏井川左岸の浅瀬で、水生生物調査をしました。その後、県立海浜自然の家(久ノ浜)で、互いのこれまでの川を中心とした学習の成果を発表しあいました。その後、予め採取してきた上流から下流までの夏井川本川の水質(COD,におい、透視度、導電率)を班ごとに調べ、変化の様子を共有しました。昼食後、夏井川の河口観察・河口親水空間での投網実演の様子や蟹釣りに挑戦し、河口部で解散しました。

⑤飯田氏講演会

10月26日(金)17:30~19:00、パルシステム福島「みんなの交流館」において、ISEP環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也氏をお招きして「自然エネルギーの今・未来」と題した学習講演会を開催しました。

講演会は、当会と再生可能エネルギーを中心とした電力の供給事業を進める生活協同組合パルシステム福島との共催で行われ、当会、いわき地域環境科学会、パルシステム関係者など40名ほどが聴講しました。



飯田氏は、再生可能エネルギー分野において国内のみならず世界的に活躍中の方です。「自然エネルギーの今・未来」と題した講演では、世界では国内で感じているよりはるかにエネルギー革命が進んでいること、大規模発電から地域発電に変える事で地域経済も活性化することなどを話されました。

講演に先立ち、飯田氏には当会の自然エネルギー学習施設の一つである、湯ノ岳山荘の施設の見学もしていただき、今後の方向性などに対してご助言をいただきました。

【報告】 「いわき自然エネルギー研究会」の動き (第23報)

①県内自然エネ施設見学会 (9/12)

自然エネルギー先進地視察旅行のため、会津地方へ行ってきました。参加者は19名でした。今回の旅行では、太陽光発電、木質バイオマス発電、風力発電の3種類について学習機会を得て、今後の自然エネルギー研究活動に参考になりました。



②講演会 (9/21)

13時半よりビックパレットふくしまで地球温暖化を学ぶセミナーが開催されました。学生や会社員などで100名収容の会場が満席でした。本会から橋本、和田隆、平川の3人が出席しました。

③自然エネルギー研究会 (9/22)

9月22日(土)、湯ノ岳山荘にて、いわき自然エネルギー研究会を開催しました。今年度で、当初の目標が一定程度達成できたことで区切りをつけることになりましたが、発展的に新たな組織体制で継続することになりました。

会議終了後、湯ノ岳山荘内の自然エネルギー施設(足湯施設増設中)を見学しました。



④パルシステム視察会 (10/20)

10月20日(土)、湯ノ岳山荘の自然エネルギー学習施設を、生活協同組合パルシステム連合会のグループ理事一行が見学に訪れました。太陽光、風車による発電の他、水車による粉引きや新たに設置された太陽熱利用の足湯のしくみなどを見学しました。



⑤市内3設備の動向

○湯ノ岳山荘(足湯)～ 太陽熱を利用して屋根に、黒塗りの2ℓペットボトル60本を連結し、足湯として使えるよう新たに設置されました。

○田人設備移設工事～ 学習設備としてより効果的に活用できるよう太陽光・風力設備を移設しました。今後の一層の活用が期待されます。

○諏訪神社(平窪自然塾の動き)～ 隔月、運営委員会を開き、既存の設備の維持管理と共に有効活用の方策や独自の事業も実施(平4小6年児童にエネルギー関連のアンケートを実施)しています。

【事務局から】 平成30年度9月～10月事務局連絡会議報告 & 事務局連絡会議への参加のお誘い

会の活動の活性化に向けて、事務局連絡会議の内容のダイジェスト版を会員の皆様にお伝えしています。今回は、9月と10月の事務局会議の内容です。

○9月事務局連絡会議

日時：平成30年9月5日（水）18：30～20：10

会場：福島高専専攻科棟1階 多目的講義室

出席者：10名

議事内容：

・報告事項

- (1) 事務局関係（会員の動向、ホームページの更新状況・アクセス状況）
- (2) 編集委員会関係（会報「ふいーど」130号の発送報告）
- (3) 会員個人の活動状況（各種会議への参加報告）
- (4) 関連団体の活動状況（いわき環境研究室、いわき自然エネルギー研究会から）
- (5) その他（高野地区における太陽光発電施設設置工場の状況と周辺環境への影響）

・協議事項

- (1) 30周年記念事業について
 - ① 各種事業に対する予算（講演会・記念本等の配分の検討）
 - ② 記念講演会についての会員へのアナウンス（連絡方法の確認）
 - ③ 環境遺産の選定（推薦箇所の一覧に基づく選定）
 - ④ 記念講演会当日のスケジュール（時間配分・段取りの確認）
 - ⑤ 記念本発行に向けた準備状況（印刷会社との連携状況の報告）
 - ⑥ 記念植樹についての会員へのアナウンス（会報「ふいーど」掲載報告）
- (2) その他の事業の計画・準備について
 - ① 第22回子供環境研究発表会（作品選定の審査について）
 - ② 第21回いわき子ども環境賞コンクール
 - ③ 第30回発表会（自由テーマによる発表の募集アナウンスについて）
- (3) 寄付金について（1件の寄付金の受け入れ）
- (4) その他 役員の訃報の連絡

○10月事務局連絡会議

日時：平成30年10月1日（月）18：30～19：50

会場：福島高専専攻科棟1階 多目的講義室

出席者：10名

議事内容：

・報告事項

- (1) 事務局関係（会員の動向、ホームページの更新状況・アクセス状況）

- (2) 会員個人の活動状況 (各種会議への参加報告)
- (3) 関連団体の活動状況 (いわき環境研究室, いわき自然エネルギー研究会から)
- ・協議事項
 - (1) 30周年記念事業について
 - ① 記念講演会当日のスケジュールの確認と役割分担の検討
 - ② 記念本の発行までのスケジュールの確認と進捗状況の報告
 - ③ 記念講演会の会員へのアナウンス (往復はがきによる) の作業方法の確認
 - ④ 記念講演会のマスコミへの連絡についての確認
 - (2) その他の事業の計画・準備について
 - ① 第22回子供環境研究発表会 (作品選定の結果報告と今後の予定の確認)
 - ② 第21回いわき子ども環境賞コンクール (応募件数の報告と今後の予定の確認)
 - ③ 第30回発表会 (自由テーマによる発表の募集アナウンスについて)
 - (3) 会報「ふいーど」131号の編集について
- ・その他 いわき環境研究室・パルシステム福島から講演会の開催案内

* いわき地域環境科学会事務局では、原則毎月第1月曜日の18時30分から20時50分(それよりも早く終わることもあります)に福島高専にて事務局連絡会議を開催しています。会の活動の状況を詳しく知ることもできますし、各自が考えていることを会の活動に反映させることも可能です。事務局連絡会議に関心のある方・一度出席してみようという方は、事務局担当の山田までご一報ください。皆様のご参加をお待ちしております。

次回の事務局連絡会議は、12月3日(月)18時30分からとなっております。

〈事務局担当〉福島高専 電気電子システム工学科 山田 貴浩

電話：0246-46-0800 FAX：0246-46-0807(学科共用)

電子メール：yamada@fukushima-nct.ac.jp

【事務局から】 お詫び

- (1) ふいーど130号で連載・昔日の下川海岸-その1を掲載しました。いただいたのは3回連載の原稿でしたが、事務局の手違いで1回で3回分を掲載してしまいました。今後連載がありませんのでお詫びします。
- (2) いわき地域環境科学会30周年記念誌「いわきの環境科学遺産」における訂正について
P4、写真提供:(誤)「江尻陽三郎」→(正)「江尻慎一郎」
裏表紙の裏、写真:(誤)「江尻陽三郎」→(正)「江尻慎一郎」
- (3) 「いわきの環境科学遺産」を読まれて、修正箇所があれば事務局に申し出てください。次号ふいーど132号で正誤表を掲載します。

2018.11.1	No.131
発行：いわき地域環境科学会	
福島工業高等専門学校	
地域環境テクノセンター内	
〒970-8034	
いわき市平上荒川字長尾30	
TEL. 0246 (46) 0837	
FAX. 0246 (46) 0843	
E-mail : mail@essid.org	